

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・利用者の性別、年齢等による差別のない介護サービスを提供する ・全ての職種の雇用条件で差別のない採用や労働環境を構築する					○			○		○							○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメント禁止の旨を就業規則等に明記する ・ハラスメント研修を実施する ・ハラスメント相談窓口を設置する					○			○										○
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・ICT機器を導入し、介護現場の記録の電子化を図り時間外労働削減に努めている ・管理職への労務管理教育を実施している ・ノー残業デイ等の導入を検討し、働き方改革を推進する									○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・E P A、技能実習生及び特定技能実習生等の外国人労働者の雇用条件や労働環境の整備を行っている				○				○		○								
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・事故防止委員会を定期的に開催し、「ヒヤリハット」等の分析を行い、事故防止に努めている ・毎朝、職員は検温、手指消毒を実施し、マスクを直用して感染症対策を講じている ・衛生委員会を定期的に実施し、労働環境及び職場環境の改善に努めている			○					○										
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・定期的にストレスチェックを実施している ・ストレスチェックの結果を分析し、職場環境の改善に活用していく			○															
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・女性管理職を登用している ・定年後の職員に対して、再雇用制度を活用して雇用している ・障害者の方の職員採用を実施している ・E P A、技能実習生及び特定技能実習生等の外国人労働者を雇用している					○			○		○								
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・協会けんぽ山梨支部に「健康宣言」を行っている			○						○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務や役割に応じた研修体系を構築している ・法人内研修及び外部研修の受講する機会を提供している				○					○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・労働基準法及び関連法令に基づき、同一労働同一賃金の原則に則った体制を整備している									○		○							

11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・各事業所から排出される廃棄物の種類や量を把握し排出削減や再利用に取り組んでいる												○	○	○								
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・デマンド監視装置を設置し、電気使用量の削減に努めている					○										○							
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	【予定】・温室効果ガス排出量の算定により、その排出量の削減を行う					○										○	○						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	【非該当】・介護事業のため					○										○	○						
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	【非該当】・介護事業のため					○															○		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水使用量を把握し、専用器具等を取り付けることにより節水に取り組む					○																	
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境						○												○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境																	○						
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境						○												○					
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境																		○	○	○	○		
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・厨房からの生ごみは出来るだけ水分を切ってから排出する ・入浴時に使用するシャンプー等は詰め替え用を購入している ・物品購入時は積極的にエコマーク商品等を購入する					○											○	○	○	○	○		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則及び服務賞罰規程等で指針を示している																					○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則及び服務賞罰規程等で指針を示している																						○
24	公正な 事業債 行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・知的財産を侵害している物品の購入がないように発注時に確認している						○	○															
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報に対する基本指針を定めて整備している																						○
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																						○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○		○				○						○	○	○	○	○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・県、市の監査を受け、改善や指導を定期的に受けている																○							
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・質の高い介護サービス等を提供するために、法人内研修や外部研修受講の機会を設けている																	○						
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境									○										○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・行政（保険者）、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携して地域福祉を支えている																				○			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会																					○			
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済																								
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分浸透している	基本	社会	・法令順守の重要性を会議や研修会等で周知している																				○			
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・法人の理念や経営方針について、会議や研修会等で周知している																				○			
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																						○		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																						○		
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																						○		
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																						○		
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																						○	○	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事業継続計画（BCP）の策定、定期的な訓練を実施している																					○	○	○	○

